

# 阿久根市まちづくりビジョン

(第2期 阿久根市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

の取組状況等について

令和4年8月

# 1 国の総合戦略について

## 第1期総合戦略

### 【計画期間】

2015年度（平成27年度）から2019年度（令和元年度）まで

### 【基本目標】

- ① 地方にしごとをつくり，安心して働けるようにする
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり，安心な暮らしを守るとともに，地域と地域を連携する

### 【国における取組】

- ・地方経済も含めた日本経済の成長戦略
- ・一億総活躍，働き方改革，人生100年時代等の取組
- ・農業，製造業，観光等の地域産業の振興や大学・起業の連携によるイノベーションの創出・人材育成
- ・コンパクトシティ，小さな拠点等による安心して生活ができる地方をつくるための様々なプロジェクト



## 第2期総合戦略

### 【計画期間】

2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）まで

### 【基本目標】

- ① 稼ぐ地域をつくとともに，安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き，地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ ひとが集う，安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

### 【横断的な目標】

- ① 多様な人材の活躍を推進する
- ② 新しい時代の流れを力にする

### 【国における取組】

- ・第1期の5年間で進められてきた施策の検証
- ・地方創生の目指すべき将来や，2020年度を初年度とする今後5か年の目標や施策の方向性等を策定

## 2 市の総合戦略について

### 第5次総合計画

【計画期間】

2015年度（平成27年度）から2019年度（令和元年度）まで

【基本目標】

- ① 誰もが安心していきいきと暮らせるまち
- ② 自然と共生し快適で住みよいまち
- ③ 地域の特性を生かし豊かさが実感できるまち
- ④ 豊かな人と文化をはぐくみ瞳かがやくまち
- ⑤ 一人ひとりが主役の誇りを持てるまち

【基本理念】「住んでいるまち」から「住んでよかったまち」  
そして、「住みたいまち」へ

### 第1期人口ビジョン・総合戦略

【計画期間】

2015年度（平成27年度）から2019年度（令和元年度）まで

【基本目標】

- ① 「アクネうまいネ自然だネ」～阿久根の「うまい」と「自然」を生かしたしごとをつくる
- ② 阿久根の「みどこい」を生かした人と人がつながるまちをつくる
- ③ 安心して結婚・出産・子育てができる「笑顔あふれる」まちをつくる
- ④ 「自然と人が共生する」快適で住みよいまちをつくる

【2060年目標人口】 12,600人

総合計画に人口ビジョン・総合戦略を包含

### 阿久根市まちづくりビジョン(第2期総合戦略)

【計画期間】

2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）まで

【基本目標】

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| ① 地域の資源を生かした「にぎわい」のあるまち | ④ 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち |
| ② 地域の魅力が広がる「つながり」のあるまち  | ⑤ 豊かな心が育まれ文化の薫るまち    |
| ③ 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち   | ⑥ 協働・連携で明るい未来を開くまち   |

【2060年目標人口】 10,800人

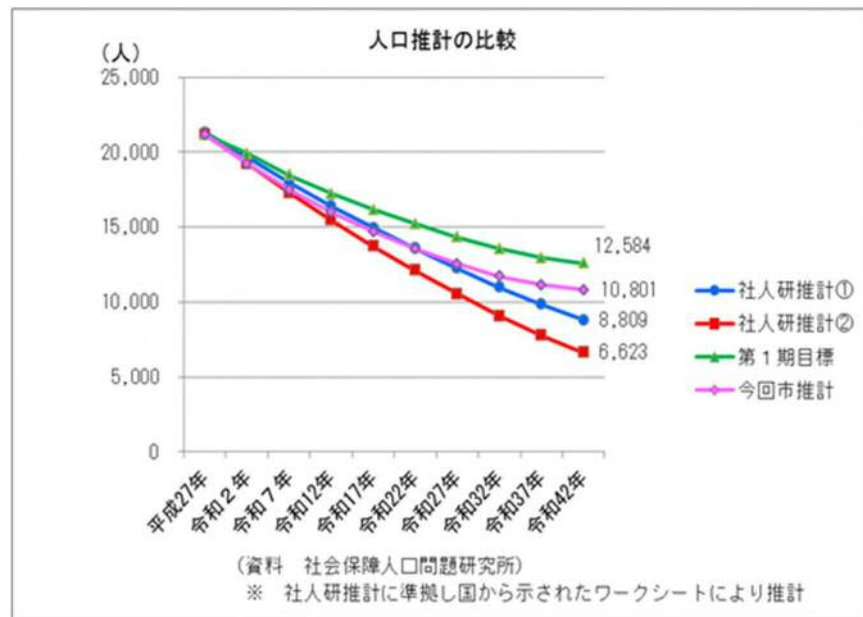
【基本理念】「まちづくり」は「ひとづくり」から ～ふるさと阿久根を次の世代につなぐために～

### 3 人口ビジョン・総合戦略について

#### 人口ビジョン

【2060年（令和42年）目標人口】  
10,800人

- ・自然増減  
2040年（令和22年）以後、合計特殊出生率を2.07まで引き上げる。
- ・社会増減  
2040年（令和22年）に転出と転入が均衡し、その後、増を目指す。



この目標を達成するために

#### 第2期総合戦略

6つの基本目標

18の基本政策

各種事業を展開

【基本目標・基本政策】

- ① 地域の資源を生かした「にぎわい」のあるまち
  - ・農林水産業の振興
  - ・商工業の振興と雇用の確保
- ② 地域の魅力が広がる「つながり」のあるまち
  - ・観光の振興
  - ・定住と交流の促進
- ③ 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち
  - ・健康の増進と地域医療の充実
  - ・子育て支援の充実
  - ・高齢者福祉と障がい者福祉の充実
  - ・地域福祉の充実と社会保障制度の適正運営
- ④ 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち
  - ・環境の保全
  - ・暮らしを支える生活基盤の形成
  - ・消防・防災対策の充実
  - ・生活の安心・安全の向上
- ⑤ 豊かな心が育まれ文化の薫るまち
  - ・人材の育成
  - ・生涯学習の推進と社会教育の充実
  - ・文化の振興とスポーツの推進
- ⑥ 協働・連携で明るい未来を開くまち
  - ・市民参加と地域コミュニティの活性化
  - ・人権の尊重と男女共同参画の推進
  - ・適正な行財政運営

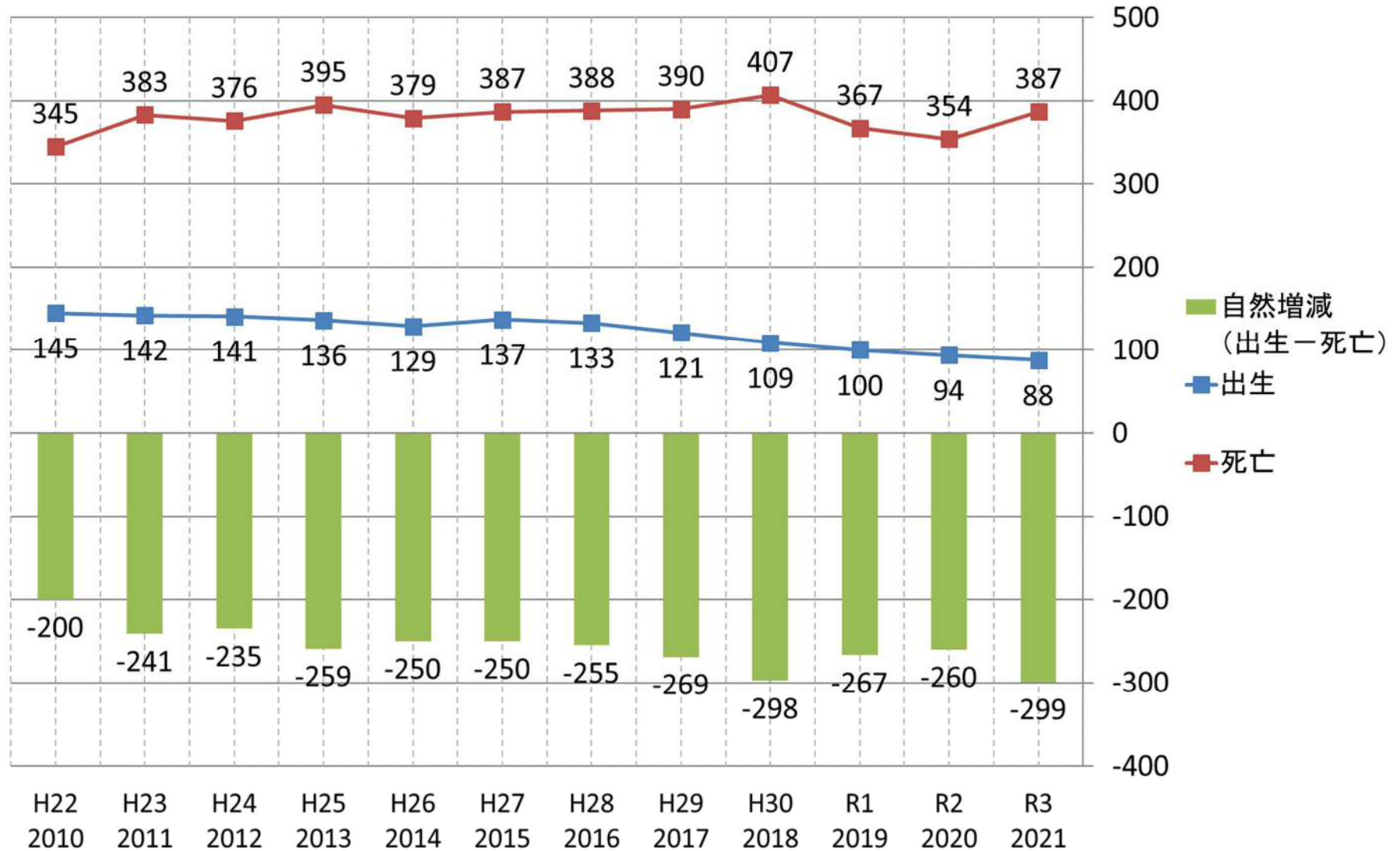
## 4 人口の状況（年度別推移）

年	社人研	目標 (人口ビジョン)	実績	実績－目標
H27 (2015)	21,332	21,385	21,198	▲187
H28 (2016)	20,994	21,090	20,826	▲264
H29 (2017)	20,656	20,795	20,341	▲454
H30 (2018)	20,319	20,500	19,904	▲596
R1 (2019)	19,981	20,205	19,461	▲744
R2 (2020)	19,256	19,257	19,270	13
R3 (2021)	18,865	18,903	18,779	▲124
R42 (2060)	6,623	10,800	—	—

※1 社人研，目標の値は，2015年及び2020年は目標値又は推計値であり，その他の年は2015年及び2020年のそれらの値からの按分（あんぶん）値である。

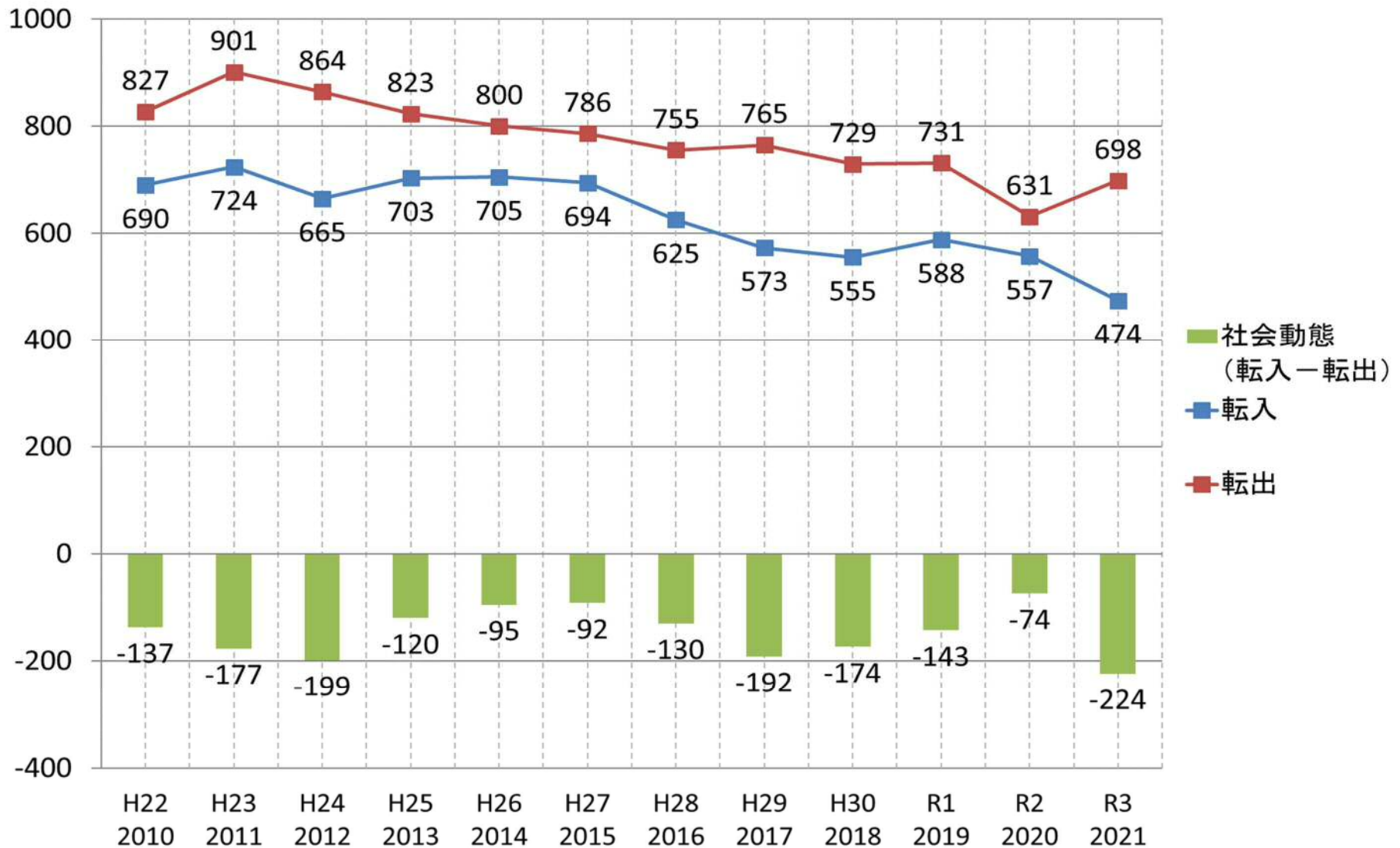
※2 実績値は，2015年及び2020年は国勢調査の値，その他の年は鹿児島県「毎月人口移動調査」の10月1日の値である。

## 5 - 1 人口動態の状況（自然増減）



- ・出生数は年々減少傾向にあり，死亡数はほぼ横ばいの傾向にある。
- ・出生数－死亡数の自然増減については、徐々にマイナス幅が大きくなってきている。

## 5 - 2 人口動態の状況（社会増減）



- ・転入数は令和3年に大幅に減少し，転出数は令和3年は増加に転じた。
- ・転出が転入を上回る「転出超過（社会減）」の状況が続いており，令和3年は最大幅となった。

## 6 K P I の達成状況と事業の主な取組

※ K P I …重要業績評価指標

- まちづくりビジョンでは、基本政策ごとに K P I（重要業績評価指標）を定め、施策を推進することとしています。
- 評価に対する基準値は、特に記載のない限り、「平成30年度末現在の値」とします。
- 評価の考え方は、以下の3つの区分のうちのいずれかを設定しています。
  - 「単年」 … 毎年度一定の目標を設定
  - 「累計」 … 期間内の累計目標値を設定
  - 「最終」 … 最終年度の水準目標を設定
- そして、その達成度及び達成評価につきましては、次のとおりとします。
  - A … 目標以上（100%以上）
  - B … 予定どおり（90%以上100%未満）
  - C … 概ね予定どおり（80%以上90%未満）
  - D … 改善・見直し必要（80%未満）
- 以下に、目標達成状況の例を示します。

### ●例1 「単年」の場合

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価
有害鳥獣捕獲頭数	単年	1,088頭	1,967頭	1,100頭	1,100頭	A

→ 単年目標 1,100頭  
R3実績 1,967頭 であるため、  
 $1,967 \div 1,100 = 178.8\%$  となり、評価は「A（100%以上）」となります。



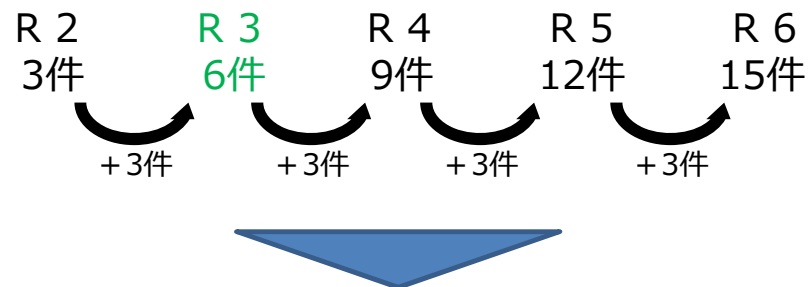
## ●例2 「累計」の場合

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価
空き家バンク登録等件数	累計	2件	2件 (±0)	6件	15件	D

↑ ( ) の増加数が R 3 の実績値

→ 令和2年度から令和6年度までの単年度目標を段階的に上げていき、最終目標（15件）を目指す。  
目標値を5か年で割って算出された値を、年度ごとの上げ幅とします。

15件÷5年 = 3件…年度ごとに上げていく目標の上げ幅



よって、この場合、  
R 3までの累計実績 2件  
R 3までの累計目標 6件 であるため、  
2件÷6件 = 33.3% となり、評価は「D（80%未満）」となります。

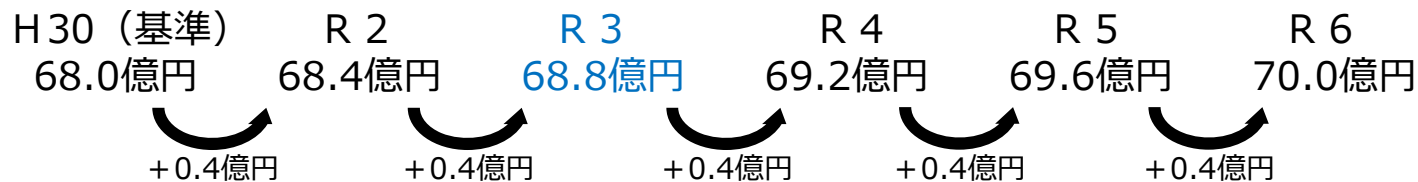
## ●例3 「最終」の場合

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価
農業生産額	最終	68.0億円	63.4億円	68.8億円	70億円	B

→ 令和2年度から令和6年度までの単年度目標を段階的に上げ、最終目標（70億円）を目指す。  
目標値から基準値を差し引き、5か年で割って算出された値を年度ごとの上げ幅とします。

$$70.0\text{億円} - 68.0\text{億円} = 2.0\text{億円}$$

$$2.0\text{億円} \div 5\text{年} = 0.4\text{億円} \dots \text{年度ごとに上げていく目標の上げ幅}$$



よって、この場合、

R 3 実績 63.4億円

R 3 目標 68.8億円 であるため、

$63.4\text{億円} \div 68.8\text{億円} = 92.1\%$  となり、評価は「B（90%以上100%未満）」となります。

# 6-1 KPIの達成状況と事業の主な取組

※KPI…重要業績評価指標

(基本目標1 地域の資源を生かした「にぎわい」のあるまち)

## (1) 農林水産業の振興

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
農業・漁業新規就業者数	単年	3人	2人(農業) 0人(漁業)	8人	8人	D	(農業)農業次世代人材投資事業, 壮年世代新規就農者支援事業 (漁業)漁業後継者就業支援金
農業生産額	最終	68.0億円	63.4億円	68.8億円	70億円	B	果樹苗木購入補助, 連作障害等対策, 農作物鳥獣害防止施設整備事業
水産物水揚量	最終	13,253トン	8,555トン	14,723トン	16,926トン	D	・漁業用機器等修理費補助事業 ・水産物流通対策事業
有害鳥獣捕獲頭数	単年	1,088頭	1,967頭	1,100頭	1,100頭	A	有害鳥獣捕獲事業
耕作放棄地の解消面積	単年	—	1.85ha	1.5ha以上	1.5ha以上	A	耕作放棄地解消対策事業

指標	今後の方向性
農業・漁業新規就業者数	(農業)令和4年度から拡充された支援内容等を含めた国及び本市独自の事業等の周知に努め, 引き続き, 新規就農者の確保に取り組むとともに, 就農者等に対しては, 農業専門指導員による市内農家への巡回指導や関係機関と連携しながら, 経営安定が図られるよう支援する。 (漁業)北さつま漁協等, 関係機関と連携し必要な支援を行いながら, 新規漁業就業者を確保・育成する。
農業生産額	鳥獣による農作物への被害防止や実えんどう, そらまめなどの豆類をはじめとした本市の基幹作物の生産過程での各種支援策, さつまいも基腐病への対策などを実施し, 引き続き農業の推進を図る。
水産物水揚量	漁業継続の一助として漁業用機器等の修理費補助や県外外来船の誘致活動, 水揚げの奨励として氷代の一部助成を行うことで, 阿久根漁港へのさらなる水揚げを促し水揚量の増加を図る。
有害鳥獣捕獲頭数	イノシシやシカ等の有害鳥獣の捕獲を推進することにより, 有害鳥獣による農林産物の被害の軽減を図る。
耕作放棄地の解消面積	農業委員や農地利用最適化推進員などを含めた関係機関との連携を図りながら, 独自の支援事業である耕作放棄地解消対策事業に取り組み, 引き続き耕作放棄地の解消に努める。

## 農業の振興

【事業名】  
耕作放棄地解消対策事業

【事業内容】  
耕作放棄地を利用して農業生産活動を行う農業者等に対して、耕作準備に要する経費の一部を助成し、土壌改良及び営農定着活動などの農業生産活動への取組を支援する。(R3実績：18,555㎡)

【事業費】  
1,606千円（令和3年度）



## 林業の振興

【事業名】  
竹林改良促進支援事業

【事業内容】  
竹林所有者等がチップ材として搬出する竹材の伐採等に係る経費の一部を助成することにより、放置竹林を解消し、竹林改良及び竹材の安定的な供給体制の整備を図る。

【事業費】  
1,828千円（令和3年度）



## 水産業の振興

【事業名】  
漁業用機器等修理費補助事業

【事業内容】  
漁船エンジンや漁業用機器等の老朽化が漁業継続の大きな障害となっており、その修理費の一部を補助することにより継続的な漁業活動を支援し、水産業の振興を図る。

【事業費】  
5,785千円（令和3年度）



## 6-2 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標1 地域の資源を生かした「にぎわい」のあるまち)

### (2) 商工業の振興と雇用の確保

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
新商品開発事業者数	累計	—	23事業者 (+14)	10事業者	25事業者	A	新商品開発支援事業
電子決済システム導入件数	累計	—	3件 (±0)	80件	200件	D	クレジットカード決済システム等導入事業
地元人材雇用者数(Uターン者)	累計	—	9人 (+9)	8人	20人	A	地元人材雇用支援奨励金
地元人材雇用者数(高校新卒者)	単年	4人	5人	10人	10人	D	・市内企業合同説明会 ・地元人材雇用支援奨励金
創業支援件数	累計	14件	8件 (+8)	6件	15件	A	・創業支援事業 ・創業セミナー補助金

指標	今後の方向性
新商品開発事業者数	新商品開発支援事業の周知を行い、積極的な取組を行う事業者を支援する。また、商品開発に関する専門的知識を要する手続等への支援については、産業支援センターなどの専門機関の活用について案内を行う。
電子決済システム導入件数	全国的にQRコードを用いたキャッシュレス決済が主流となる中、利便性等の観点からクレジットカード決済の需要は落ち込みつつある。事業者に対し実情に合った支援を行うことができるよう、事業の継続等について検討する。
地元人材雇用者数(Uターン者・高校新卒者)	地元企業への就職のきっかけづくりの一つとして、地元人材雇用支援奨励金を継続して交付する。制度の周知に関しては、民間事業者が主催するフェアへの出展、鶴翔高等学校での企業説明会及び広報誌等の様々な媒体を用いて実施する。
創業支援件数	創業支援事業は、阿久根商工会議所が実施する創業セミナーを受講し修了することが要件とされていることから、商工会議所と連携・調整の上、セミナーの積極的な開催を図る。

## 商工業の振興①

【事業名】  
新商品開発支援事業

【事業内容】  
本市の魅力発信と地域事業者の事業活動の充実による地域経済の活性化を図ることを目的とし、市独自の資源を活用した商品等の開発を行うに当たり必要となる経費を補助する。

【事業費】  
6,918千円（令和3年度）



## 商工業の振興②

【事業名】  
創業支援事業

【事業内容】  
創業の促進と産業の活性化を図るため、国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき市内で新たに創業する個人・法人に対し、創業に要する経費の一部を補助するとともに、創業支援セミナーの開催費用の一部を補助する。

【事業費】  
14,803千円（令和3年度）



## 雇用の確保①

【事業名】  
合同企業説明会

【事業内容】  
新卒者、UIターン者等を対象に企業説明会を開催し、市内企業の人材確保の支援を行う。

【事業費】  
139千円（令和3年度）



## 雇用の確保②

【事業名】  
地元人材雇用奨励金

【事業内容】  
地元企業の人材確保と商工業の振興を図るため、本市に3年以上居住する新規就労者が市内企業に雇用され一定期間勤務した場合、新規就労者及び正規雇用した地元企業に対し奨励金を交付する。

【事業費】  
4,000千円（令和3年度）



## 6-3 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標2 地域の魅力が広がる「つながり」のまち)

### (1) 観光の振興

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
外国人観光客数	累計	482人	170人 (+74)	400人	1,000人	D	
電子決済システム導入件数	累計	—	3件 (±0)	80件	200件	D	クレジットカード決済システム等導入事業
番所丘公園来場者数	単年	82,425人	65,906人	100,000人	100,000人	D	
体験型観光参加者数	単年	124人	383人	300人	300人	A	・体験型観光コンテンツ開発等事業補助 ・地域おこし協力隊活用事業

指標	今後の方向性
外国人観光客数	長引くコロナ禍の中、国においては、旅行業者等を受入責任者とする添乗員付きパッケージツアーによる外国人観光客の受入れを令和4年6月10日から開始しているが、本市においてはその効果が見込めないことから、アフターコロナに向けた需要回復を見据えた施策の検討を行う。
電子決済システム導入件数(再掲)	全国的にQRコードを用いたキャッシュレス決済が主流となる中、利便性等の観点からクレジットカード決済の需要は落ち込みつつある。事業者に対し実情に合った支援を行うことができるよう、事業の継続等について検討する。
番所丘公園来場者数	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しつつ、指定管理者の自主事業としてグラウンドゴルフ大会やキッチンカー・マルシェ等を開催し、昨年度より来場者数が増加した。今後も、番所丘公園に新たな魅力を付加させ、効率的かつ効果的な施設運営を目指していく。
体験型観光参加者数	体験型観光コンテンツ開発等事業補助や地域おこし協力隊の活用を継続しながら、体験型観光を推進し、参加者数の増加を図る。

## 観光の振興①

【事業名】  
番所丘公園樹木伐採等業務委託

【事業内容】  
番所丘公園グラウンドゴルフ場西側斜面の雑木を伐採し、公園利用者が快適に利用できる環境を整備するとともに、景観を確保し、公園来場者の増加を図る。

【事業費】  
5,610千円（令和3年度）



## 観光の振興②

【事業名】  
阿久根大島謎解きウォーキング事業

【事業内容】  
春から秋にかけて安定的に渡船を運航し、海水浴に限らず、近年高まっているアウトドア需要やウェルネス志向を踏まえた集客と利用促進を図るため、阿久根大島でのウォーキングイベントを開催する。

【事業費】  
2,998千円（令和3年度）



## 観光の振興③

【事業名】  
寺島宗則旧家保存活用事業  
(寺島宗則記念館トイレ新築工事)

【事業内容】  
本市の偉人で明治維新の立役者の一人でもある寺島宗則（松木弘安）にスポットを当て、本市脇本地区に現存する自然豊かで歴史的価値も高い旧家の修復や周辺環境の整備による観光客増を図る。

【事業費】  
17,607千円（令和3年度）



## 観光の振興④

【事業名】  
阿久根市体験型観光コンテンツ開発等事業補助

【事業内容】  
地域の魅力の発信を通じた観光の振興を図るため、体験型観光コンテンツの開発及び改良に関する事業に取り組む者に対し、補助金を交付する。  
補助金の額は、補助対象経費の3分の2以内の額とし、20万円を限度とする。

【事業費】  
800千円（令和3年度）





## 6-4 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標2 地域の魅力が広がる「つながり」のまち)

### (2) 定住と交流の促進

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
空き家の改修件数	累計	—	26件 (+13)	6件	15件	A	空き家活用支援事業
空き家バンク登録等件数	累計	2件	2件 (±0)	6件	15件	D	空き家バンク事業
青少年交流事業 参加者数等	累計	8人	0人	8人	20人	D	鶴翔高校生を対象とした派遣事業 台南市とのパンフレット相互ミニ展 示の実施(代替事業)

指標	今後の方向性
空き家の改修件数	令和2年度から開始した空家改修補助事業については、概ね目標値に近い達成状況ではあるものの、真に本市への定住促進につながる事業となるよう、市外からの移住者数など別の指標を設けるなどにより事業効果を分析し、補助制度のあり方については再度検証していく必要がある。
空き家バンク登録等件数	空き家バンクへの登録に関する相談は数件あったものの、現地調査の結果、いずれも物件の状態等により登録に至らなかった。今後は、家財等処分に対する補助制度と組み合わせながら、引き続き、市内不動産業者と協働し空き家の解消・有効活用に取り組む。
青少年交流事業 参加者数等	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果を測るための事業が実施できていない。まずは、これまで予定をしている事業の実施に向けて、鶴翔高校にも協力を仰ぎながら、台湾台南市善化区と継続して調整を行うこととする。

## 移住・定住の促進①

【事業名】  
子育て世帯移住支援補助事業

【事業内容】  
本市に移住し、一定期間定住する意思を有する18歳未満の子又は  
在胎するものを含む子育て世帯を対象に、補助金等を交付することで  
地域経済や自治会活動を活性化させ、良好な地域社会の形成を促  
す。

【事業費】  
2,600千円（令和3年度）



## 移住・定住の促進②

【事業名】  
空き家活用事業支援事業

【事業内容】  
空き家の有効活用による本市への移住定  
住の促進及び地域の活性化を図るため、  
1年以上継続して使用されていない一戸  
建ての空き家を改修しようとする所有者に  
対し、補助金を交付する。

【事業費】  
26,848千円（令和3年度）



改修前



改修後

## 交流の促進

【事業名】  
国際交流事業

【事業内容】  
平成30年4月に台湾台南市善化区と友好交流協定を締結し、産業、  
教育、文化など多分野において今後交流を深めるとともに、官民相互の  
交流を促進し市政の発展を目指す。

【事業費】  
86千円（令和3年度実績:相互ミニ展示）  
【参考】3,442千円（令和4年度予算）



## 交流基盤の整備

【事業名】  
サンセット牛之浜景勝地「道の駅」基本計画策定

【事業内容】  
南九州西回り自動車道の整備に伴い、交流拠点施設となる道の駅の  
整備実現に向けた取組を推進していくため、施設の機能や規模、管理  
運営手法等の検討事項を整理した基本計画を策定した。

【事業費】  
9,823千円（令和2年度繰越）



## 6-5 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち)

### (1) 健康の増進と地域医療の充実

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
特定保健指導実施率	最終	50.7%	62.2%	54.5%	60.0%	A	・特定健康診査事業 ・特定保健指導事業
各種がん検診受診者数	単年	8,956人	9,662人	10,000人	10,000人	B	がん対策事業
ラジオ体操参加者数	単年	127人	54人	200人	200人	D	ラジオ体操推進事業

指標	今後の方向性
特定保健指導実施率	特定健康診査受診率を向上させ、生活習慣病予備軍の確実な抽出を行い、特定保健指導の徹底を行うことで、市民の健康の保持増進と医療費の適正化を目指す。
各種がん検診受診者数	がんは、市民の死亡原因の最多を占め、健康阻害の大きな要因となっていることから、予防啓発や早期発見・早期治療の促進を図るとともに、制度の趣旨や受診方法などをわかりやすく周知し、受診者数を増やしていく。
ラジオ体操参加者数	新型コロナウイルス感染症の影響により登録者数が少なかった。今後は、感染防止対策を講じつつ、市民の健康づくり活動を推進するため、市広報誌や防災行政無線による周知及び関係事業所等への広報周知等により、参加者数を増やしていく。

## 健康づくりの推進①

【事業名】  
特定保健指導事業

【事業内容】  
特定健康診査の結果に基づき、生活習慣病のリスクが高い被保険者を対象に、専門職による保健指導を行う。

【事業費】  
650千円（令和3年度）



## 健康づくりの推進②

【事業名】  
がん対策事業

【事業内容】  
各種がん検診を実施し、早期発見・早期治療を促す。  
（肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診等）

【事業費】  
30,771千円（令和3年度）



## 医療体制の整備①

【事業名】  
在宅当番医制事業

【事業内容】  
休日昼間の外来で対応可能な軽度の救急患者に対する医療について、公益社団法人出水郡医師会へ2市1町で委託し事業を実施する。

【事業費】  
831千円（令和3年度）



## 医療体制の整備②

【事業名】  
病院群輪番制病院事業

【事業内容】  
入院を必要とする重症の救急患者に対する医療について、病院や医師等の調整を行い事業を実施している公益社団法人出水郡医師会に対し、2市1町で運営費の補助を行う。

【事業費】  
6,665千円（令和3年度）



## 6-6 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち)

### (2) 子育て支援の充実

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
出生児数	最終	109人	88人	123人	145人	D	出生祝い商品券支給事業
子育て支援コンシェルジュを利用した母親の満足度	単年	75.0%	73.0%	90.0%	90.0%	C	・子育て支援コンシェルジュ事業 ・子育て包括支援センター事業
子育て支援施設利用者の満足度	単年	94.5%	91.7%	95.0%	95.0%	B	子育て支援事業

指標	今後の方向性
出生児数	出生児数については、平成30年度まで100人を超えていたが、年々減少してきている。令和2年度から、出生祝い商品券支給事業の支給額を出生児1人につき10万円とし、経済的負担の軽減を図っているが、今後も子育て世帯に対する支援やそれを通じた市内商店街の活性化のため、引き続き事業を実施する。
子育て支援コンシェルジュを利用した母親の満足度	出産前から、専任の担当保健師が母親との「顔の見える関係」を築き、出産や育児に関する相談支援を行っていく。また、事業内容について効果的な広報・周知に努め、安心して利用できる環境を整える必要がある。
子育て支援施設利用者の満足度	施設利用者によるアンケートでは子育て支援センター事業に対して概ね満足しており、子育ての不安感の解消や貴重な情報交換の場として利用されている。今後も本事業についての周知や活動内容の充実を図りながら、引き続き事業を実施する。

## 子育て支援体制の整備①

【事業名】  
子育て支援コンシェルジュ事業

【事業内容】  
妊娠から出産まで専任担当保健師による母子のケアやサポートを通して、母子の健全な育成と継続した支援を実施する。（妊産婦訪問・相談、新生児・乳児訪問・相談等）

【事業費】  
205千円（令和3年度）



## 子育て支援体制の整備②

【事業名】  
子育て世代包括支援センター事業

【事業内容】  
妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を一体的に提供することを目的に、保健師・助産師等が妊娠・出産・育児に関する様々な相談に対応する。また、必要に応じて支援プランの作成や関係機関との連絡調整を行い支援する。

【事業費】  
4,039千円（令和3年度）



## 子育て支援環境の整備①

【事業名】  
出生祝い商品券支給事業

【事業内容】  
次世代を担う子どもの出生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、育児に要する経費の経済的支援を行うため、商品券を支給する。

【事業費】  
8,800千円（令和3年度）



## 子育て支援環境の整備②

【事業名】  
子育て支援拠点事業

【事業内容】  
家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の保護者の孤独感や不安感の増大等に対応するため、子育て拠点の設置を推進し、子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援するもの。

【事業費】  
16,540千円（令和3年度）



## 6-7 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち)

### (3) 高齢者福祉と障がい者福祉の充実

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
認知症サポーター養成者数	最終	1,808人	1,931人	2,084人	2,500人	B	認知症サポーター養成講座
高齢者元気度アップ・ポイント事業登録者数	単年	1,650人	1,336人	1,700人	1,700人	D	介護予防に係る行動を行った際に、ポイントを付与し、貯まれば商品券と交換できる。
高齢者等福祉タクシー利用券交付者数	最終	430人	624人	518人	650人	A	高齢者等福祉タクシー利用券交付
在宅高齢者福祉アドバイザー配置数	単年	—	96人	100人	100人	B	高齢者等の見守り
就労支援施策による自立更生件数	単年	1人	3人	2人	2人	A	障がい者就労継続支援事業、障がい者就労移行支援事業

指標	今後の方向性
認知症サポーター養成者数	養成講座について普及啓発に努める。特に小中学校の授業や放課後児童クラブの活動などを通じて人格形成の重要な時期である児童生徒を対象とした養成講座の拡大を図る。
高齢者元気度アップ・ポイント事業登録者数	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を継続しながら、引き続き、高齢者の社会参画を促し、地域の互助活動の活性化を図る。
高齢者等福祉タクシー利用券交付者数	引き続き、高齢者等が外出時に利用するタクシーの料金の一部を助成することにより、日常生活を支援するとともに、社会参加を促し、福祉の増進を図っていく。
在宅高齢者福祉アドバイザー配置数	引き続き、寝たきりや一人暮らしの高齢者等の在宅福祉サービスに対するニーズを掘り起こすとともに、地域や関係機関と連携を図りながら、対象者ごとの在宅福祉利用計画の策定を進め、円滑で効果的なサービスの利用を促進していく。
就労支援施策による自立更生件数	令和3年度は、目標値と比較してプラス1名の実績となった。今後は、一般就労に移行した後、再度、就労支援サービスに戻ってしまう方に対する、更なる支援の検討を行っていくこととしたい。

## 高齢者福祉の充実

### 【事業名】

高齢者等福祉タクシー利用助成事業

### 【事業内容】

運転免許を持っていない市民税非課税世帯の属する75歳以上の高齢者及び運転免許を持っていない74歳以下の要介護認定者や一定の条件を満たす高齢者等を対象に、通院や買い物時に利用するタクシー料金の一部を助成し、高齢者の外出を支援するもの。  
(1枚300円の利用券を1人につき、年間最大48枚交付)

### 【事業費】

4,047千円 (令和3年度)



## 障がい者福祉の充実①

### 【事業名】

地域生活支援事業

### 【事業内容】

障がいの有無に関わらず全ての人の人格と個性を尊重し、安心して暮らせる地域社会の実現のため、地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効果的・効率的に実施するもの。

### 【事業費】

24,833千円 (令和3年度)



## 障がい者福祉の充実②

### 【事業名】

障がい児通所支援事業

### 【事業内容】

障がいのある児童を通所させて、日常生活の基本的動作の指導や知識や技能の付与等の訓練を行うサービス事業

### 【事業費】

134,150千円 (令和3年度)





## 6-8 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標3 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち)

### (4) 地域福祉の充実と社会保障制度の適正運営

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
民生委員・児童委員活動回数	単年	1,350回	1,766回	1,600回	1,600回	A	
ジェネリック医薬品の使用割合	単年	74.0%	85.7%	80.0%	80.0%	A	医療費適正化事業

指標	今後の方向性
民生委員・児童委員活動回数	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じた上で、高齢世帯への訪問や地区部会での研修会等を開催した。</p> <p>令和4年度も引き続き、可能な範囲で活動を行うこととし、他機関との情報共有を図りながら、支援を必要とする方が孤立しないようにサポート体制を確立していくこととしたい。</p>
ジェネリック医薬品の使用割合	<p>国においても使用促進に向け取組を強化していることから、ジェネリック医薬品の普及促進のための広報・啓発活動を行う。</p>

## 地域福祉の充実①

【事業名】  
手話奉仕員養成研修事業

【事業内容】  
研修の受講により手話奉仕員を養成し、手話を通して聴覚障がい者とのコミュニケーションを図り、社会参画を促す。

【事業費】  
429千円（令和3年度）



## 地域福祉の充実②

【事業名】  
子どもの学習支援事業

【事業内容】  
経済的な理由による教育格差を解消するため、地域の小・中学生を対象に学習への学びの場を設け、学習への動機づけや円滑な学習習慣の確立等の支援を行う。

【事業費】  
840千円（令和3年度）

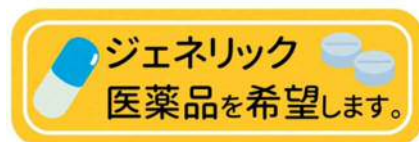


## 社会保障制度の適正な運営

【事業名】  
医療費適正化事業

【事業内容】  
被保険者への医療費通知及びジェネリック医薬品普及促進のための広報・啓発などを行う。

【事業費】  
1,001千円（令和3年度）



## 6-9 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち)

### (1) 環境の保全

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
汚水処理人口普及率	最終	52.6%	61.4%	58.4%	66.9%	A	小型合併処理浄化槽設置整備事業

指標	今後の方向性
汚水処理人口普及率	<p>令和3年度から補助内容の見直しを行い汚水処理人口普及率の向上について強化を図っている。令和4年度も次の補助内容を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くみ取り槽から小型合併処理浄化槽への転換に係る宅内配管設置に対する補助を継続</li> <li>・単独浄化槽・くみ取り槽から小型合併処理浄化槽への転換に対する補助を増額</li> <li>・市内業者が施工する場合に補助を増額</li> </ul> <p>なお、新築住宅に対する補助は令和2年度をもって廃止している。また、令和5年度以降は現在の補助率を段階的に減じる予定である。</p>

## 自然環境の保全

【事業名】  
小型合併処理浄化槽設置整備事業

【事業内容】  
単独浄化槽・くみ取り槽から小型合併処理浄化槽への転換に係る費用  
に対する補助

【事業費】  
116,252千円（令和3年度）



## 適正な土地利用と景観の保全

【事業名】  
ふるさと景観整備事業

【事業内容】  
肥薩おれんじ鉄道沿線及び阿久根県立  
自然公園牛之浜景勝地を臨む国道3  
号南部地区の海岸通り等において、樹  
木を伐採することにより阿久根の魅力の  
1つである海岸景観の保全を図ることを  
目的とする。

【事業費】  
3,000千円（令和3年度）



## 安全な水の安定供給

【事業名】  
施設整備更新事業

【事業内容】  
生活に欠かすことのできない重要なライフラインである水道を守り、安全で良質な水の安定的な供給のため、老朽化した既存の水道施設の更新を実施し水道の基盤強化を図る。

【事業費】  
156,611千円（令和3年度）

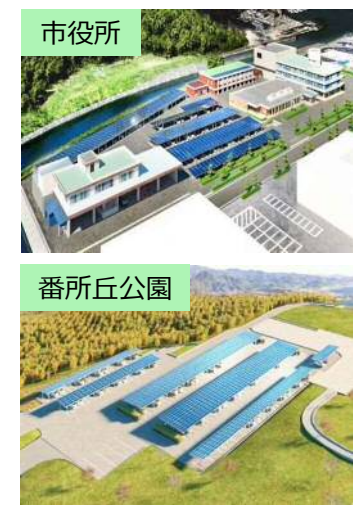


## 再生可能エネルギーの導入

【事業名】  
地域内再生可能エネルギー活用モデル  
構築事業

【事業内容】  
再生可能エネルギーの活用を推進し、  
地域の脱炭素化等を図ることを目的と  
して表明した“ゼロカーボンシティ宣言”の  
実現に向け、民間事業者と協定を締結し、  
市役所、番所丘公園等に太陽光発電  
施設を設置する。

【事業費】  
0千円（令和3年度）



## 6-10 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち)

### (2) 暮らしを支える生活基盤の形成

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
改修済市営住宅の入居率 (対象住宅)	単年	86.1%	86.8%	90.0%	90.0%	B	・春畑住宅整備事業 ・ふれあい住宅整備事業
危険空き家の解体件数	累計	22件	33件 (+16)	29件	72件	A	危険家屋解体事業
乗合タクシー1回当たりの 乗合人数	最終	2.1人	1.8人	2.18人	2.3人	C	乗合タクシー運行事業

指標	今後の方向性
改修済市営住宅の入居率 (対象住宅)	春畑住宅及びふれあい住宅の整備事業について、令和3年度に予定していた改修工事が令和4年度に繰り越しとなったが、令和4年度以降の改修工事については、予定どおり実施する計画である。今後も計画的に改修工事を行い、住宅の長寿命化及び居住性の向上を図り、入居率の向上につなげる。
危険空き家の解体件数	事業開始から6年目となる令和3年度の解体実績は16件であった。空き家については、年々問合せ件数も増えており、今後も事業要望が増えるものと思われる。
乗合タクシー1回当たり の乗合人数	令和3年度の利用状況は新型コロナウイルス感染症の影響、県のまん延防止等重点措置の適用等もあり、不要不急の外出が抑制され、前年度よりも減少する結果となった。 今後の利用促進を図るため、利用方法や料金についての周知を引き続き行う。併せて、利用者向けのアンケートを実施し、要望の多い地域や時間帯について、利用者の意見を反映させた利便性の高い運行計画とする。

## 住環境の整備

【事業名】  
危険家屋解体事業

【事業内容】  
解体費の30万円以上が補助対象で、解体費の3分の1以内で上限30万円の補助金を交付する。

【事業費】  
4,327千円（令和3年度）

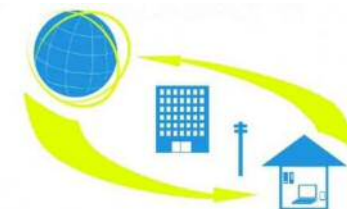


## 社会資本等の整備

【事業名】  
高度無線環境整備推進事業

【事業内容】  
高速・大容量通信の基盤となる光ファイバ整備率を100%とするため、未整備であった大川地区、鶴川内地区及び脇本地区に伝送路設備等を整備する電気通信事業者に対し補助金を交付する。

【事業費】  
263,200千円（令和2年度繰越）



## 公共交通網の維持・強化

【事業名】  
乗合タクシー運行事業

【事業内容】  
タクシーよりも安価で、料金一律の乗合タクシーを運行し、高齢者等の交通弱者の経済的な負担を軽減し、かつ利便性のある地域公共交通体系を構築する。

【事業費】  
3,904千円（令和3年度）



## 6-11 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち)

### (3) 消防・防災対策の充実

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
住宅用火災警報器の設置率	最終	90.0%	96.7%	92.0%	95.0%	A	九州一斉住宅用火災警報器普及啓発キャンペーン
消防団員充足率	単年	—	92.9%	95.0%以上	95.0%以上	B	消防団活動支援事業(家族表彰)
普通救命講習受講者数	単年	154人	47人	200人	200人	D	消防団員, 市内事業所, 学校教職員及び海水浴場監視員等への普通救命講習

指標	今後の方向性
住宅用火災警報器の設置率	住宅用火災警報器の未設置世帯に対する設置の働きかけ, 設置世帯への維持管理や設置後10年を経過する際の交換等について指導や広報を行う。
消防団員充足率	勤続20年以上の消防団員の家族を表彰している。消防団員確保のため, 今後も消防団に所属し, 各種活動を継続してもらうため事業は継続する。 消防団活動を広く周知するとともに, 消防団活動への理解の促進と団員確保のため, 広報による紹介などに取り組む。
普通救命講習受講者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため, 多人数での講習が実施できず修了者が減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた講習を今後も実施し, 受講者数の増加に努める。

## 防災体制の整備

【事業名】  
災害備蓄品の購入

【事業内容】  
想定避難者数の3日間分の食糧や必要な資機材の備蓄を推進するとともに、自治体や関係機関との災害時協定を拡充し、救援体制の強化に取り組む。

【事業費】  
3,329千円（令和3年度）

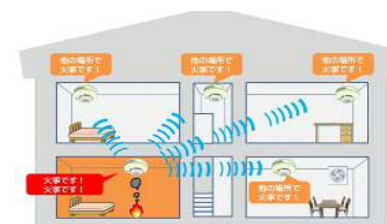


## 消防体制の整備①

【事業名】  
住宅用火災警報器普及率向上事業

【事業内容】  
住宅用火災警報器の未設置世帯に対する設置の働きかけ、設置世帯への維持管理や設置後10年を経過する際の交換等について指導や広報を行う。

【事業費】  
0千円（令和3年度）



## 消防体制の整備②

【事業名】  
消防団活動支援事業

【事業内容】  
阿久根市消防団三笠班及び大川分団牛之浜班の普通消防積載車が26年～28年経過しており、老朽化による不具合が生じていたため、電源立地地域対策補助金事業を活用し更新した。

【事業費】  
16,644千円（令和3年度）



## 救急体制の整備

【事業名】  
応急手当等推進事業

【事業内容】  
阿久根地区消防組合応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づき、住民に対する正しい応急手当、知識と技術の普及を目的としている。

【事業費】  
0千円（令和3年度）





## 6-12 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標4 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち)

### (4) 生活の安心・安全の向上

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
交通事故発生件数	最終	60件	28件	56件	50件	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通教室等の実施による交通安全に対する意識の啓発徹底</li> <li>交通安全対策施設の整備</li> </ul>
市内の犯罪率(人口1万人当たりの犯罪認知件数)	最終	31.3件	37.0件	28.7件	25.0件	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯意識の向上促進</li> <li>地域の防犯力向上, 危機管理体制の充実</li> </ul>
防犯灯のLED化率	最終	15.3%	66.8%	41.3%	80.0%	A	防犯灯のLED化の推進, 設置促進
消費生活出前講座実施回数	単年	2回	1回	12回	12回	D	消費生活出前講座

指標	今後の方向性
交通事故発生件数	阿久根警察署をはじめ, 関係機関と一体となり, 交通安全意識の啓発活動や高齢者, 幼児, 児童生徒等を対象とした交通教室等を実施し, 市民一人一人の交通安全に対する意識の啓発徹底に取り組む。
市内の犯罪率(人口1万人当たりの犯罪認知件数)	犯罪に遭わないために, また, 罪を犯さないために, 警察, 防犯組合, 学校等各関係機関と連携し, 広報や研修会での意識の向上を促進する。
防犯灯のLED化率	犯罪の防止や交通安全推進のため, 各区が設置する防犯灯のLED化を推進する。
消費生活出前講座実施回数	各区や高齢団体等の行事等, 機会を捉えて, 消費生活に関する情報や詐欺等の被害に遭わないポイントなどをわかりやすく伝える出前講座を積極的に実施する。

## 交通安全の推進

【事業名】  
交通安全施設整備事業

【事業内容】  
道路交通環境を改善するため、ガードレールや区画線等路面標示の設置を行うなど、交通安全対策施設の整備を進める。

【事業費】  
5,894千円（令和3年度）



## 防犯の推進

【事業名】  
防犯灯LED化推進事業

【事業内容】  
各区が設置・管理している防犯灯のLED化を推進するため、防犯灯設置等補助事業を実施する阿久根市防犯組合連絡協議会へ補助金を交付し、市民の防犯意識を高めるとともに、犯罪の防止や交通安全の推進を図る。

【事業費】  
2,664千円（令和3年度）



## 相談体制の充実

【事業名】  
消費生活相談員等レベルアップ事業・地域社会における消費者問題解決力の強化に関する事業

【事業内容】  
各種研修に参加し相談員のレベルアップを図る。広報あくね「消費生活コーナー」による啓発や消費生活啓発グッズを作成して市産業祭等で配布することにより、相談窓口の周知や消費者トラブルの未然防止に役立つ。

【事業費】  
274千円（令和3年度）



## 6-13 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標5 豊かな心が育まれ文化の薫るまち)

### (1) 人材の育成

A…目標以上(100%以上)      C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)  
 B…予定どおり(90%以上100%未満)      D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
アクネ大使等による講演会等件数	単年	—	1件	3件	3件	D	・アクネ大使等による学習の場づくり事業 ・アクネ大使ミュージックフェスティバル
鶴翔高校からの 地元企業への就職者数	単年	3人	2人	5人	5人	D	鶴翔高校「3年A組の@」商品支援事業, 市内企業合同説明会, 地元人材雇用支援奨励金
学校施設等長寿命化計画を踏まえた改修棟数(改修計画の進捗)	累計	—	1棟 (±0)	2棟	6棟	D	耐力度調査(4棟)
学校給食地元食材の使用率	最終	52.7%	51.4%	53.7%	55.0%	B	学校給食地産地消推進事業

指標	今後の方向性
アクネ大使等による 講演会等件数	アクネ大使ミュージックフェスティバルについては、風テラスあくねランドオープン記念として令和元年度に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度の開催となった。 成果を測るための事業が実施できていないことから、新型コロナウイルス感染症の収束後に当初の計画に基づき事業を実施した上で、成果等を評価する必要がある。
鶴翔高校からの 地元企業への就職者数	引き続き、鶴翔高校「3年A組の@」シリーズの事業補助等を行い、本市の特産品に密接に関わる機会を創出し、人材育成を図ることで、地元企業への就職者の増加を図り、併せて市内企業合同説明会の実施や地元人材雇用支援奨励金を交付する。
学校施設等長寿命化計画 を踏まえた改修棟数 (改修計画の進捗)	学校施設等長寿命化改修計画では、耐力度調査→工事実施設計委託→改修工事(校舎借上げを含む)の順に改修を進めていくこととなっており、令和3年度は校舎4棟の耐力度調査を実施した。改修工事(阿久根小・阿久根中)は令和5年度以降に予定しており、引き続き、児童生徒が安心して学習できる環境整備を行っていく。
学校給食地元食材の 使用率	地元食材の調達については、農家等生産者と直接の交渉を行うなど、少しでも多くの食材を確保できるよう検討し、地元食材の使用率向上に努める。

## 次世代人材の育成①

### 【事業名】

鶴翔高校「3年A組の@」商品支援事業

### 【事業内容】

阿久根ブランドの創造と地場産業を担う人材育成につなげることを目的として、鶴翔高校が地域に密着した地元食材を用いて行う「3年A組の@」商品支援を行う。

### 【事業費】

463千円（令和3年度）



## 次世代人材の育成②

### 【事業名】

アクネ大使ミュージックフェスティバル公演

### 【事業内容】

音楽関係で活躍されているアクネ大使を招いてアクネ大使ミュージックフェスティバルを開催した。アクネ大使の活動を周知するとともに、プロとして活躍するアクネ大使の音楽と郷土あくねへの思いを訪れた人々へ伝えた。

### 【事業費】

1,256千円（令和3年度）



## 学校教育の充実①

### 【事業名】

あくねよかこ教育事業

### 【事業内容】

次世代を担う子供たちの社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度を育てるためのキャリア教育の推進を図る。

### 【事業費】

501千円（令和3年度）



## 学校教育の充実②

### 【事業名】

I C T 支援事業

### 【事業内容】

授業で活用するI C T 機器に係る教職員への研修や授業における機器の活用等の技術支援を行う。

### 【事業費】

7,048千円（令和3年度）



## 6-14 KPIの達成状況と事業の主な取組 (基本目標5 豊かな心が育まれ文化の薫るまち)

### (2) 生涯学習の推進と社会教育の充実

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
生涯学習講座参加者総数	単年	1,955人	1,944人	2,100人	2,100人	B	講座の開設, 生涯学習フェア
学校応援団ボランティア活動総数	単年	1,489人	911人	1,500人	1,500人	D	地域学校協働活動(学校応援団)
図書館利用者数	最終	36,730人	21,634人	37,238人	38,000人	D	バンビ教室, 館外文庫, 緑陰読書会, 古本市, ブックスタート事業
家庭教育学級参加者数	単年	1,235人	1,260人	1,300人	1,300人	B	家庭教育学級開設
ジュニア・リーダークラブ会員	単年	15人	14人	20人	20人	D	青少年健全育成事業(活動支援)

指標	今後の方向性
生涯学習講座参加者総数	「人生100年時代」に向けて, 多様な学習機会の提供とその学びを活かし活躍できるよう, 講座の学びの在り方について工夫・検討を進めながら, 講座の充実・発展に努める。
学校応援団ボランティア活動総数	学校支援活動として取り組んでいる地域の多様な人材の確保・登録を進める一方, 団体等と連携を図り, また講座等での学びを学校支援活動に活かし新たな人材の発掘につなげていく。
図書館利用者数	令和2年度との比較では, 利用者数が6割増加しているが, コロナ禍前の利用者の水準までには達しておらず, 令和3年度から運用した蔵書管理システムを活用し, 利用者数の増加を図っていく。
家庭教育学級参加者数	全ての小中学校で家庭教育学級が開設されていたが, コロナ禍で学習の機会が減少した。学校・地域等と連携しながら, 学習機会の提供や家庭教育に関する情報提供に努め, 家庭教育力を高める取組を進める。
ジュニア・リーダークラブ会員	中高校生の様々な活動の中核となり, リーダーとしての資質を備えることができるよう, 活動の場を増やすなどの支援に努めるとともに, 会員の確保を行い, 次世代の人づくりを目指す。

## 生涯学習の推進①

【事業名】  
高齢者学級開設

【事業内容】  
高齢者の学習機会の拡充と生きがいのための推進を図るために、高齢者を対象とした学級を開設する。

- ・開設期間 4月～3月
- ・学級数 9学級
- ・学級生数 261人

【事業費】  
0千円（令和3年度）



## 生涯学習の推進②

【事業名】  
生涯学習講座開設

【事業内容】  
市民の学習機会の拡充と生涯学習社会の実現を図るため、生涯学習講座を開設する。

- ・開設期間 6月～1月
- ・講座数 21講座
- ・受講生 267人
- ・開設場所 風テラスあくね他 5会場

【事業費】  
1,094千円（令和3年度）



## 社会教育の充実①

【事業名】  
ジュニア・リーダー育成

【事業内容】  
ボランティア活動や交流活動を通して、ジュニア・リーダーとしての資質を高める。

- ・対象 小学6年生から高校生までの児童生徒
- ・会員数 14人
- ・活動内容 定例会、交流活動、ボランティア活動、研修活動

【事業費】  
0千円（令和3年度）



## 社会教育の充実②

【事業名】  
あくねキッズスクール

【事業内容】  
阿久根の自然を生かした体験活動を実施することにより、青少年の健全育成を図る。

- ・参加者 30人
- ・活動内容  
交流活動、カヌー体験  
創作活動、阿久根大島探検

【事業費】  
77千円（令和3年度）



## 6-15 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標5 豊かな心が育まれ文化の薫るまち)

### (3) 文化の振興とスポーツの推進

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
文化財関係団体育成件数	累計	5件	12件 (+6)	10件	25件	A	郷土芸能育成補助金(波留南方神社神舞保存会, 赤瀬川六尺棒踊り保存会等)
「華の50歳組」参加率	単年	68.0%	0%	70.0%	70.0%	D	華の50歳組歓迎レセプション
スポーツイベント参加者数	単年	2,315人	21人	2,430人	2,430人	D	スポーツイベント実施事業(あくねボンタンロードレース大会等)
スポーツ施設利用者数	単年	146,247人	95,699人	147,710人	147,710人	D	合宿誘致推進事業など

指標	今後の方向性
文化財関係団体育成件数	郷土芸能伝承団体の活動は、昨年度に引き続きコロナ禍での活動となり、練習及び披露の場に制限があった。団体の後継者育成も含め、伝承するための活動が活性化できるように補助を実施していく。
「華の50歳組」参加率	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果を測るための事業が実施できていない。 令和4年度は事業実施を予定しているため、対象者が安心して参加できるように市として支援を行い、成果を上げるための取組を行う。 また、中止となった令和2年度及び令和3年度の対象者へ対するレセプションについても、感染症の状況を注視し実施することで、伝統行事の継承に資する。
スポーツイベント参加者数	新型コロナウイルス感染症の影響により、ボンタンロードレース大会や高校駅伝等のスポーツイベントが開催できなかった。今後は感染防止対策に努めながら、交流人口の増加や健康増進に向けた事業に取り組んでいきたい。
スポーツ施設利用者数	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館や利用者の制限を行ったため、例年より利用者数が少なかった。合宿等で訪れる団体の利用は、コロナ発生前の状況に戻りつつあるため、各種広報等を行い、利用者数の増加を図っていきたい。

## 文化活動等の推進①

【事業名】  
自主文化事業

【事業内容】

- ・FAZUOLIピアノ試弾会
- ・みやまふれあいコンサート
- ・海上自衛隊佐世保音楽隊コンサート
- ・爆笑落語四人会2021
- ・最強ものまねバトル
- ・清塚信也クリスマスコンサート
- ・アクネ大使ミュージックフェスティバル など

【事業費】  
9,853千円（令和3年度）



## 文化活動等の推進②

【事業名】  
あくね洋画展

【事業内容】

- ・出品数 一般・高校生の部 157  
（うち高校生32）  
ジュニアの部 1,334
- ・展示数 一般・高校生の部 145  
（うち委嘱作家等20・高校生19）
- ・来場者数 1,081人

【事業費】  
1,062千円（令和3年度）



## スポーツの推進①

【事業名】  
スポーツイベント実施事業

【事業内容】

阿久根市長旗九州選抜高等学校駅伝競走大会やあくねボンタンロードレース大会を開催することにより、交流人口の拡大による地域活性化や地元選手の競技力向上などを目的としている。（令和3年度は中止）

【事業費】  
0千円（令和3年度）



## スポーツの推進②

【事業名】  
健康づくり推進事業

【事業内容】

各種健康教室等を開催し、市民の方々が運動する機会を構築する。

【事業費】  
148千円（令和3年度）





## 6-16 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標6 協働・連携で明るい未来を開くまち)

### (1) 市民参加と地域コミュニティの活性化

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
ホームページアクセス件数	単年	176,486件	492,713件	194,134件	194,134件	A	市政情報の随時更新及び時宜を得た情報の掲載
マイナンバーカード取得率	最終	12.8%	49.8%	47.6%	100.0%	A	マイナンバーカード交付事業 (マイナンバーカード交付円滑化計画)
活性化事業取組件数	最終	10件	6件	14件	20件	D	地域色(ちいきいろ)づくり事業(活動活性化事業・施設整備事業分)
地域別ビジョン, 行動計画の策定箇所数	最終	0か所	0か所	1か所	3か所	D	集落支援員の設置

指標	今後の方向性
ホームページアクセス件数	分かりやすい情報提供, 迅速かつ正確な情報発信及び内容の充実に努めるとともに, ホームページへのアクセスを更に促すため, ホームページとSNSが連携した情報発信を行う。
マイナンバーカード取得率	令和4年度末までに, ほぼ全ての国民がマイナンバーカードの取得をすることを, 国が目標としていることから, 更に申請環境, 交付(受取)環境の整備を図り, 取得率の向上につなげる。
活性化事業取組件数	令和2年度で取組件数が減少したが, 令和3年度では, 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での継続した取組に係る申請, また, コロナ禍だからできる新たな取組に係る申請等もみられた。 令和4年度では改正した要綱を基に, より様々な地域コミュニティの活性化が見込める活動に対し補助を行う。
地域別ビジョン, 行動計画の策定箇所数	集落支援員を通じて得た情報収集をもとに地域課題を明確にし, 関係課との情報共有, 連携を図りながら, その解決に当たっては, モデル地区を選定して進めるなど, コミュニティの充実に向けた効果的取組を促進する。

## 市民参加の促進

### 【事業名】

マイナンバーカード交付円滑化事業  
(各区及び企業等への巡回出張申請等)

### 【事業内容】

申請時来庁方式及び公民館等へのお出張申請を新たに導入し、本人宅へカードを送付することでサービスと交付率の向上を図った。

### 【事業費】

6,490千円 (令和3年度)  
(会計年度任用職員人件費等)



## 地域コミュニティの活性化

### 【事業名】

地域色 (ちいきいろ) づくり事業 (活動  
活性化事業分・施設整備事業分)

### 【事業内容】

地域が抱える課題の解決及び地域コミュニティの活性化を図り、魅力あふれる豊かな地域づくりを支援する。

### 【事業費】

228千円 (令和3年度実績)  
※活動活性化  
100千円 (令和3年度実績)  
※施設整備



## 6-17 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標6 協働・連携で明るい未来を開くまち)

### (2) 人権の尊重と男女共同参画の推進

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
男女共同参画地域推進員 の数	最終	2人	3人	4人	8人	D	地域において、男女共同参画に関する情報発信を行う推進員の設置
委員会等における女性の 登用率	最終	17.0%	18.1%	22.2%	30.0%	C	男女が共に参画するため、性別に偏った決定がなされないよう平等に意見を取り入れる場の形成

指標	今後の方向性
男女共同参画 地域推進員の数	令和4年度からの地域推進員として2名を増員している。 地域推進員に就任するため参加必須となる研修が令和2年度からWEB参加を導入しているため、より多くの人が研修に参加する機会につなげるため、積極的な情報発信を行う。 また、庁内各課において、推進員を1名以上配置できるよう、職員研修の一つとして取り扱うこととする。
委員会等における 女性の登用率	各課が所管する委員会の委員選出時に、目標値に配慮した選出を依頼する。 また、毎年の内閣府による調査結果を基に、毎年の登用率を把握し、各課に情報提供を行う。

## 人権の尊重

### 【事業名】

「人権の花」運動

### 【事業内容】

人権の花「ひまわり」を育てることを通して人権について考える機会を設けて、人権意識の高揚に繋げる。  
(尾崎小学校、田代小学校で実施)

### 【事業費】

45千円 (令和3年度)



## 男女共同参画の推進

### 【事業名】

男女共同参画推進事業

### 【事業内容】

地域における男女共同参画に関する情報発信及び推進を行うため、県が実施する講座の受講を要件として、男女共同参画地域推進員を委嘱し配置する。

### 【事業費】

0千円 (令和3年度)



## 6-18 KPIの達成状況と事業の主な取組

(基本目標6 協働・連携で明るい未来を開くまち)

### (3) 適正な行財政運営

A…目標以上(100%以上)

C…概ね予定どおり(80%以上90%未満)

B…予定どおり(90%以上100%未満)

D…改善・見直し必要(80%未満)

指標	区分	基準値	R3 (実績)	R3 (目標)	R6 (目標)	評価	主な事業
行政改革における各種施策の達成率	最終	51.9%	70.6%	63.1%	80.0%	A	市民との協働によるまちづくり, 市民サービスの向上等
将来負担比率	単年	—	—(見込)	20.0%未満	20.0%未満	A	※公表が毎年9月頃のため, 見込での評価としている。
市税(国民健康保険税を除く。)収納率	最終	92.37%	95.44%	94.29%	97.16%	A	
ふるさと納税額	最終	99,464千円	227,003千円	239,678千円	450,000千円	B	ふるさと納税推進事業

指標	今後の方向性
行政改革における各種施策の達成率	市長を本部長とする阿久根市行政改革推進本部において, 毎年度取組状況をチェックし報告しているが, 今後も行政改革の適正な執行管理, 点検, 評価を行い, 持続可能な自治体経営に努め, 住民福祉の向上に努めていきたい。
将来負担比率	公債費や繰出金等の将来負担に対し, 基金や公債費のうち基準財政需要額に算入(交付税措置)される充当可能財源が大きいため, 将来負担比率はマイナスとなる。今後も地方債発行の抑制や繰上償還, 計画的な基金の積立てを行い, 安定的な財政運営を目指す。
市税(国民健康保険税を除く。)収納率	収納率は未だ県平均を下回っているため, 収納率を県平均以上に引き上げる必要がある。そのためにも, 適切な滞納解消に取り組む。
ふるさと納税額	引き続き, 返礼品の拡充やポータルサイトの充実などにより全国に阿久根の魅力を発信し, より多くの阿久根ファンを獲得して寄附の増加を図っていく。

## 行政サービスの充実①

【事業名】  
市庁舎改修工事

【事業内容】

令和2年度に引き続き、令和3年度においても市庁舎改修工事を実施した。令和3年度は市庁舎の屋上、外壁等の改修を行い、庁舎機能の維持保全を図った。

【事業費】

99,107千円（令和3年度）



## 行政サービスの充実②

【事業名】  
職員の接遇

【事業内容】

お客様に対する接遇について、職員研修等を継続的に実施し、懇切丁寧な対応を進め、質の高い市民サービスの向上に取り組んだ。

【事業費】

0千円（令和3年度）



## 持続的な自治体経営のための行財政運営等①

【事業名】  
職員採用事務

【事業内容】

持続可能な自治体経営を図るため、積極的な広報・説明会を通じて、計画的な職員採用を行った。

【事業費】

473千円（令和3年度）



## 持続的な自治体経営のための行財政運営等②

【事業名】  
ふるさと納税推進事業

【事業内容】

ふるさと納税で寄附された方に返礼品として特産品を贈り、阿久根の魅力を発信することにより、特産品のリピーターの確保、阿久根ファンの創出並びに寄附額の増加を図る。

【事業費】

130,969千円（令和3年度）



## 7 総合戦略取組状況（R3年度）

基本目標	指標数 (事業数)	主な事業	K P I 達成状況（R3年度）			
			A 目標以上	B 予定どおり	C 概ね予定 どおり	D 改善・見直 しが必要
1. 地域の資源を生かした 「にぎわい」のあるまち	10 (71)	・農業新世代人材投資事業 ・新商品開発支援事業 など	5	1	0	4
2. 地域の魅力が広がる 「つながり」のまち	7 (28)	・体験型観光コンテンツ開発等事業補助 ・地域おこし協力隊活用事業 など	2	0	0	5
3. 支え合い生き生きと 暮らせる健やかなまち	13 (62)	・子育て支援拠点事業 ・高齢者等福祉タクシー利用券交付事業 など	5	4	1	3
4. 快適・安全で潤いと やすらぎのあるまち	11 (45)	・小型合併処理浄化槽設置整備事業 ・危険家屋解体事業 など	5	2	1	3
5. 豊かな心が育まれ 文化の薫るまち	13 (38)	・アクネ大使等による学習の場づくり事業 ・生涯学習講座, 家庭教育学級 など	2	3	0	8
6. 協働・連携で明るい 未来を開くまち	10 (20)	・マイナンバーカード交付事業 ・ふるさと納税推進事業 など	5	1	1	3
合 計	64 (263)		24 (37%)	11 (17%)	3 (5%)	26 (41%)





## 8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和4年度）

基本目標	事業名	概要
2. 地域の魅力が広がる「つながり」のまち	空き家バンク家財処分等補助事業(新規)	遊休化する空き家の増加抑制策の一つとして、空き家の流通や利活用を促進することを目的として、空き家バンクへの登録を要件として、空き家の所有者等に対し、家財の処分・搬出費用の一部を補助する。
	もっと知りたい！行ってみたい！阿久根の魅力発信事業(拡充)	新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、阿久根にゆかりのある方・ない方を問わず、阿久根を応援して下さる全ての方に、阿久根をアピールし、まち全体の魅力を発信することにより、「阿久根ファン」を獲得し、観光の誘客、特産品の販売促進、新たな交流人口の増加を図る。
	阿久根大島渡船補助事業(新規)	阿久根大島の周年利用を促進するため、渡航する者の渡船費用の一部及び渡船事業者の燃料費の一部を補助する。
	地域おこし協力隊導入等事業(拡充)	<p>地域おこし協力隊員が市内の事業所等を訪問し、情報収集等を行う中で、人材の確保、若者の雇用、起業に関する課題と一緒に考えて考えると、適切な情報発信を支援することにより、事業所、しごとの魅力を伝え、雇用促進につなげる。</p> <p>地域おこし協力隊員が移住相談窓口を担うことで、空き家バンクへの登録物件の増加、市内に存する空き家等の利活用を促進するとともに、移住定住人口の増加につなげる。</p>
「阿久根で縁結び」出会いサポート事業(拡充)	<p>少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化に歯止めをかけ、婚活を推進する取組として、未婚の若い世代を対象として、肥薩おれんじ鉄道の車両を借り上げて交流の場を提供し、また、結婚に対する知識習得を目的としてセミナーを実施する。</p> <p>また、婚活者への側面的な支援として、近年の結婚事情や適切なカウンセリング方法等に関するセミナーを開催し、アドバイザーの養成に取り組む。</p>	

## 8 総合戦略を推進するための新たな取組（令和4年度）

基本目標	事業名	概要
3. 支え合い生き生きと暮らせる健やかなまち	不妊治療費助成事業(拡充)	不妊に悩む夫婦が安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、治療費の助成を行う。 また、特定不妊治療の助成上限額を15万円から30万円に引き上げ、治療者の精神的負担と経済的負担の軽減を図る。
	生理用品支援事業(新規)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、経済的な理由等で生理用品を購入できない方を支援するため、公共施設等において生理用品を配布する。
4. 快適・安全で潤いとやすらぎのあるまち	地域内再生可能エネルギー活用モデル構築事業(新規)	2050年を目標とした「ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、地域資源を最大限に活用した持続可能な自立循環型社会の構築を目指すため、市庁舎に設置した発電施設と接続先の公共施設の需要バランスや、地域新電力会社を設立するに当たっての費用や体制等に関する調査を実施し、専門的知見に基づく検討を行う。
5. 豊かな心が育まれ文化の薫るまち	文化財保存事業(神舞本奉納)(新規)	県の指定無形民俗文化財である「神舞」の伝承と地域コミュニティの活動促進を図るため、保存会に対して、本奉納に係る経費の一部を支援する。
6. 協働・連携で明るく未来を開くまち	ふるさと納税推進事業(拡充)	ふるさと納税で寄附された方に返礼品として特産品を贈り、阿久根の魅力を発信することにより、特産品のリピーターの確保、阿久根ファンの創出並びに寄附額の増加を図る。